



SDGsは豊かな地球を守るため、って大きなテーマでなんだか難しい…
 けれどSDGsは経営課題を解決してくれる大切なキーワードなんです！
 近くの会社をのぞいて見れば、あれ、これもSDGsなんだ！
 小さなことでもまずはひとつ。SDGs、始めてみませんか？

日章興産株式会社 > 未来につながる、気候に左右されない野菜栽培プラントを開発



所在地 太子町竹広42-2 社員数 10名 TEL 079-277-5070
 代表者 代表取締役 三浦 一章 業 種 職別工事業、水耕栽培プラント開発 HP <https://www.gline-farm.jp/>

事業内容

当社は、1973年創業の三光塗装工業株式会社の特殊塗装事業を担う子会社として1990年に設立されました。創業以来、「お客様第一主義」を掲げ、挑戦を続ける姿勢と高い技術力を武器に、地域社会への貢献を目指して活動しています。

持続可能な農業への第一歩

数年前、本社と新設した安富工場を行き来する中で、豊かな田園風景が休耕地に変わりつつあることに気づきました。幼い頃から農業に親しんできた経験を生かし、2011年に兵庫県「農業セミナー」に参加。講義や現場視察を経て、収益性の高い農業モデルを構築する可能性を模索しました。翌年、安富工場の空きスペースを活用し、比較的栽培が容易なブルーベリーの生産を開始しました。

野菜栽培プラントへの挑戦

ブルーベリー栽培は成功を収め、酵素ドリンクとして商品化しましたが、通年で取り組める作物が必要でした。ニラやオクラ、原木しいたけなどの栽培に挑戦しましたが、天候の影響を受け成果を得るのは困難でした。そんな中、2015年に「農業EXPO」で水耕栽培技術に出会い、投資規模が比較的小さいプラントの導入を決意。契約業者の事業停止というアクシデントに見舞われるも、関係業者と協力して独自の水耕栽培プラントを完成させました。

試行錯誤で野菜栽培に成功

プラントの稼働に向けて、種苗会社や電機メーカー、さらに「はりま産学交流会」を通じて出会った神戸大学の先生から得た専門知識を活用し、種苗選び、LED照射、養液調整などの実験を重ねてきました。その結果、農業を使用せずにレタス類を安定して生産することに成功し、地域のスーパーや飲食店、ふるさと納税の返礼品として提供しています。また、必要な電力は太陽光発電で賄い、環境に配慮した効率的な事業運営を実現しました。さらに、室内作業で気候の影響を受けない環境を整えたことで、収穫を毎日決まった時間に一定量行うことが可能となり、従業員にとっても働きやすい職場づくりにつながっています。

メッセージ

これからも、収益性の高い農業モデルを提供し、「誰もが安心して食べられる未来」を支えるとともに、次世代へとつながる持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

